

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド 豪ドルコース

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース」は、2019年3月25日に第100期決算を行いました。

当ファンドは、主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り予約し、豪ドルを買い予約する為替取引を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに第95期から第100期までの運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年9月26日～2019年3月25日

第95期	決算日：2018年10月25日	
第96期	決算日：2018年11月26日	
第97期	決算日：2018年12月25日	
第98期	決算日：2019年1月25日	
第99期	決算日：2019年2月25日	
第100期	決算日：2019年3月25日	
第100期末 (2019年3月25日)	基準価額	3,538円
	純資産総額	1,538百万円
第95期～ 第100期	騰落率	△3.1%
	分配金合計	140円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

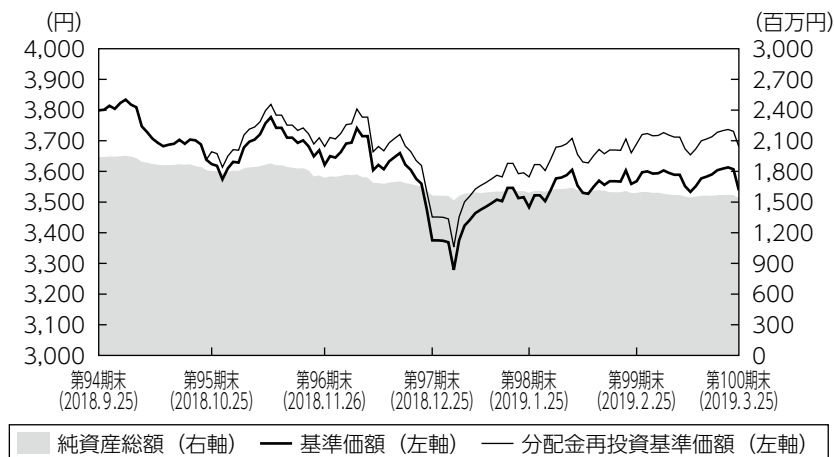
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第95期首： 3,799円
 第100期末： 3,538円
 (既払分配金140円)
 騰落率： △3.1%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

円建てのケイマン諸島籍外国投資信託である「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーAUDクラス」（以下、「ハイイールド・ボンド・ファンド」といいます。）を通じて、主として海外のハイイールド債券に実質的に投資を行いました。また、国内短期公社債マザーファンドへの投資を行いました。作成期間における基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

上昇要因

ハイイールド債券市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

豪ドルが円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第95期～第100期 (2018年9月26日 ～2019年3月25日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	21円	
(投信会社)	(7)	(0.187)	
(販売会社)	(14)	(0.375)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	21	0.579	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

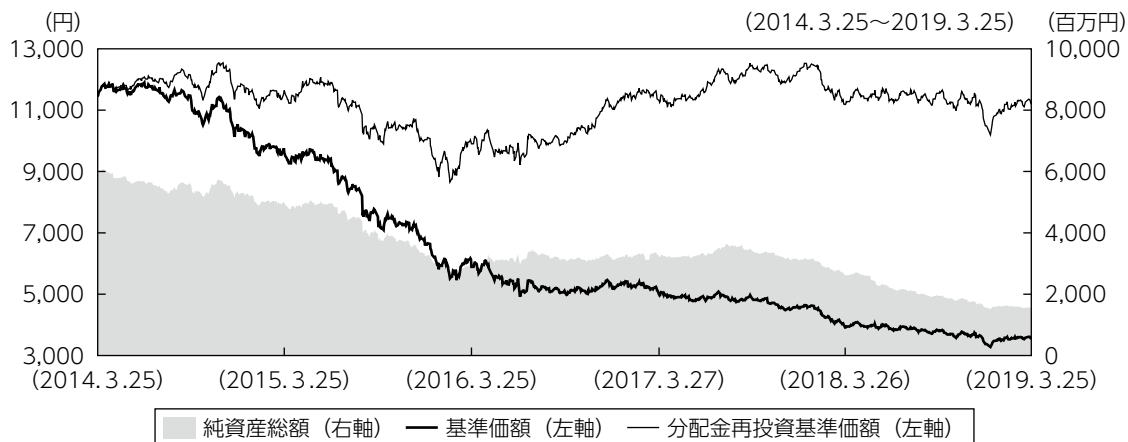
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(注5) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては組入ファンドの概要に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年3月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年3月25日 決算日	2015年3月25日 決算日	2016年3月25日 決算日	2017年3月27日 決算日	2018年3月26日 決算日	2019年3月25日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	11,446	9,612	5,890	4,991	3,912	3,538
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	2,070	2,400	1,590	1,080	380
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	1.7	△15.0	14.3	△1.2	0.0
純資産総額 (百万円)	5,936	4,962	2,830	3,223	2,616	1,538

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示してあります。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注4) 投資信託証券を通じて主として海外の高利回り社債に実質的に投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指数等がございません。よって、ベンチマーク等は特定していません。

投資環境

●ハイイールド債券市場

作成期間におけるハイイールド債券市場は上昇しました。2018年12月までは、米中貿易摩擦に伴う世界経済の悪化懸念から、投資家のリスク回避姿勢が高まり、同市場は下落しました。2019年に入ると、投資家のリスク回避姿勢が一服したことや、F R B（米連邦準備制度理事会）が政策金利の引き上げを見送るとの期待などから上昇に転じ、作成期間を通じた安定した利回り収入が上昇要因となりました。

●国内短期金融市場

作成期間の残存1年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス圏で推移しました。

●為替市場

豪ドルは円に対して下落しました。2018年12月に発表されたオーストラリアの7-9月期GDP成長率が市場予想を下回ったことや、世界経済の不透明感の高まりなどが、豪ドル売り要因となりました。



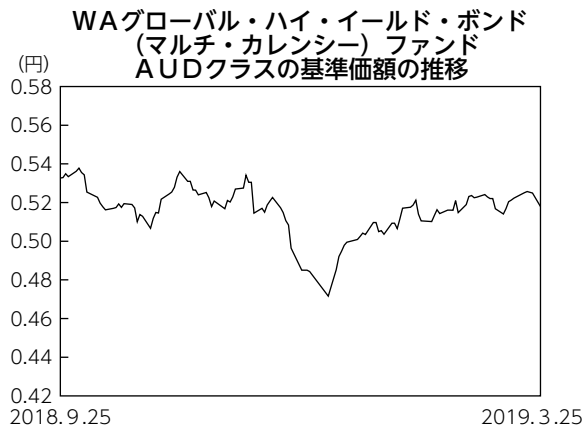
ポートフォリオについて

●当ファンド

引き続き、ハイイールド・ボンド・ファンドを高位に組み入れました。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続しました。

●ハイイールド・ボンド・ファンド

2019年3月22日時点でのポートフォリオの状況は、キャッシュを除くベースで保有銘柄数は212銘柄、地域別では米国を選好しました。信用格付け別では、B格やBB格の銘柄を中心の組み入れを継続しました。また、セクター別では消費者関連、資源エネルギー、通信などを中心とし、市場動向等に合わせて銘柄選択を行いました。



※基準価額は1口当たりです。

※当作成期間における分配金（累計）を加算しています。

●国内短期公社債マザーファンド

主として円建ての公社債に投資することにより安定した収益の確保を目指してきましたが、ファンドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れを行わず、第100期末時点での債券の組み入れはありませんでした。

ベンチマークとの差異について

投資信託証券を通じて海外の高利回り社債に実質的に投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指数等がございません。したがって、ベンチマーク等は特定していないため、グラフは掲載しておりません。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2018年9月26日 ~2018年10月25日	2018年10月26日 ~2018年11月26日	2018年11月27日 ~2018年12月25日	2018年12月26日 ~2019年1月25日	2019年1月26日 ~2019年2月25日	2019年2月26日 ~2019年3月25日
当期分配金（税引前）	40円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	1.092%	0.549%	0.589%	0.571%	0.557%	0.562%
当期の収益	40円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	1,037円	1,038円	1,039円	1,044円	1,048円	1,049円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ハイイールド・ボンド・ファンドを高位に組み入れる方針です。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続する方針です。

●ハイイールド・ボンド・ファンド

世界経済については、米国において緩やかな拡大基調が続くと見ているものの、貿易摩擦の高まりに伴う景気への影響や、政治・経済基盤が脆弱な国の動向など不安定な要素もあり、これらを慎重に見極める必要があると考えます。こうした中、ハイイールド債券市場について不安定な展開も想定されますが、金融政策の緩和方向への変化、良好な企業業績や歴史的な低水準で推移するデフォルト（企業の倒産）率などは相場を下支えする要因になると思われます。

今後につきまして、地域別では米国の選好を継続します。また将来的に財務内容の改善が期待できる銘柄など、柔軟に取捨選択しながら投資リターンを追求する方針です。

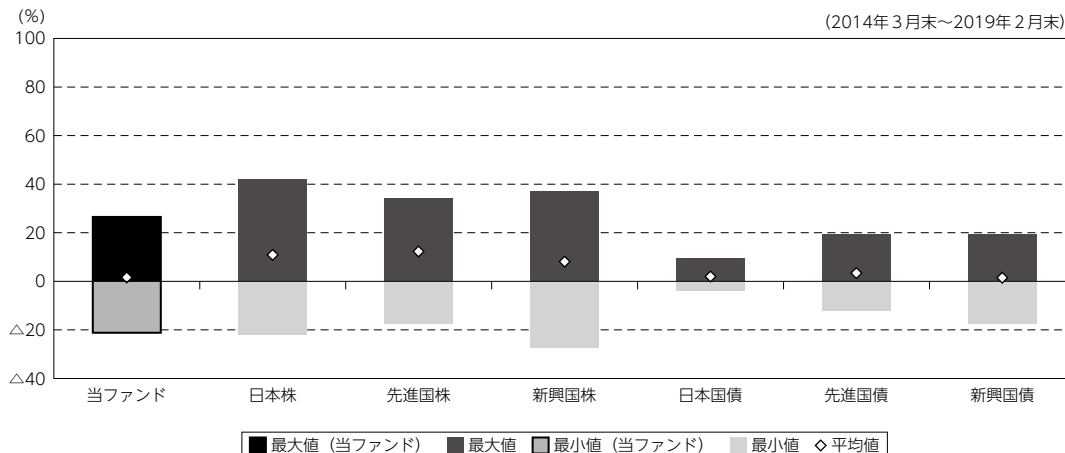
●国内短期公社債マザーファンド

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2010年10月8日から2020年9月25日（当初2015年9月25日）まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光グローバル・ハイールド債券ファンド豪ドルコース	投資信託証券。
	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド-AUDクラス	主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行います。
	国内短期公社債マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運用方法	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド-AUDクラスへの投資を通じて、主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り予約し、豪ドルを買い予約する為替取引を行います。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。前記にかかわらず、前記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	26.5	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△21.2	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	1.6	10.9	12.3	8.1	2.0	3.4	1.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年3月から2019年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年3月25日現在）

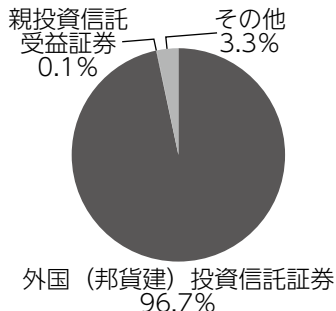
◆組入ファンド等

	第100期末
	2019年3月25日
WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンドーAUDクラス	96.7%
国内短期公社債マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

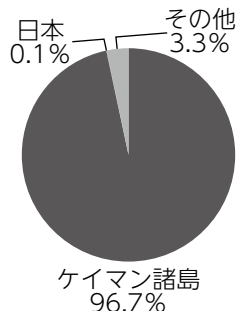
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載してあります。

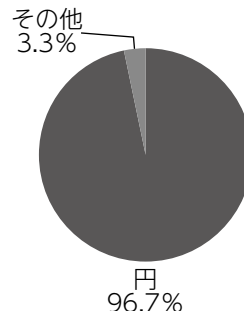
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注3) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

純資産等

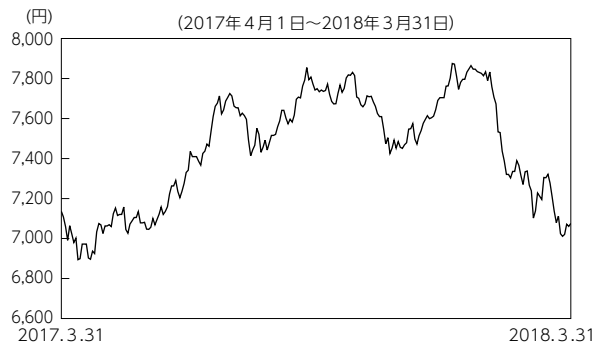
項目	第95期末	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末
	2018年10月25日	2018年11月26日	2018年12月25日	2019年1月25日	2019年2月25日	2019年3月25日
純資産総額	1,803,907,706円	1,736,999,793円	1,563,704,868円	1,592,007,830円	1,590,165,573円	1,538,238,681円
受益権総口数	4,977,625,815口	4,797,498,628口	4,633,736,969口	4,570,944,969口	4,457,223,468口	4,348,035,086口
1万口当たり基準価額	3,624円	3,621円	3,375円	3,483円	3,568円	3,538円

(注) 当作成期間（第95期～第100期）における追加設定元本額は10,688,507円、同解約元本額は774,721,788円です。

組入ファンドの概要

【WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド－AUDクラス】

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

(2017年4月1日～2018年3月31日)
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

◆組入上位10銘柄

(2018年3月31日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	Altice France SA/France 144A 7.375% 2026/5/1	マスメディア	米ドル	フランス	1.5%
2	Sprint Corp. 7.875% 2023/9/15	電気通信	米ドル	アメリカ	1.4
3	Valeant Pharmaceuticals International 144A 9.25% 2026/4/1	製薬	米ドル	アメリカ	1.1
4	Virgin Media Secured Finance PLC 144A 5.5% 2026/8/15	マスメディア	米ドル	イギリス	1.1
5	Pactiv LLC 8.375% 2027/4/15	梱包およびコンテナ	米ドル	アメリカ	1.0
6	HCA Inc. 5.5% 2047/6/15	ヘルスケアサービス	米ドル	アメリカ	1.0
7	Red Oak Power LLC 9.2% 2029/11/30	電力	米ドル	アメリカ	0.9
8	Scientific Games International Inc. 10.0% 2022/12/1	娯楽	米ドル	アメリカ	0.9
9	Freeport-McMoRan Inc. 5.45% 2043/3/15	鉱業	米ドル	アメリカ	0.9
10	DISH DBS Corp. 5.875% 2024/11/15	マスメディア	米ドル	アメリカ	0.7
組入銘柄数			327銘柄		

(注1) 144A 有価証券は、1933年証券法規則144Aに基づき登録が免除されています。これらの有価証券は、登録免除取引において、通常、適格機関購入者への転売が可能です。

(注2) 比率は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」の純資産総額に対する割合で、小数第2位を四捨五入して表示してあります。

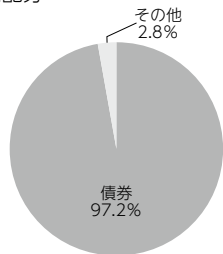
(注3) 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド－AUDクラス」は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」の個別クラスとなっております。

(注4) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

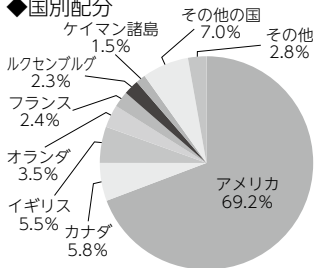
(注5) 上記の表は、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社提供の財務書類より作成しております。

(注6) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

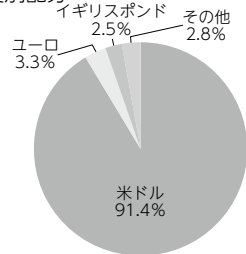
◆資産別配分



◆国別配分



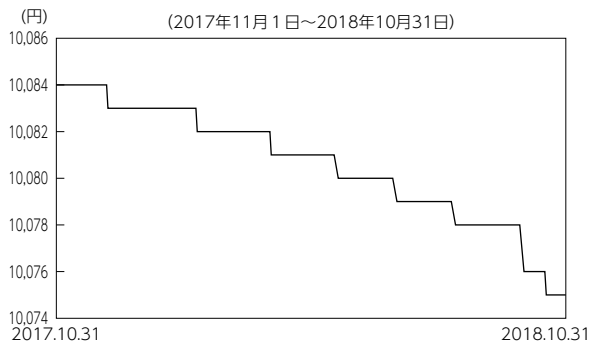
◆通貨別配分



- (注1) 比率は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド」の純資産総額に対する割合です。
- (注2) 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド-AUDクラス」は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド」の個別クラスとなっております。
- (注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
- (注4) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。
- (注5) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。
- (注6) 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド」は、米ドル以外の通貨建債券へ投資した場合、原則として債券の発行通貨売り/米ドル買いの為替取引を行います。その上で、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド-AUDクラス」において、原則として、米ドル売り、豪ドル買いの為替取引を行います。
- (注7) 上記のグラフは、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社提供の財務書類より作成しております。

【国内短期公社債マザーファンド】

◆基準価額の推移



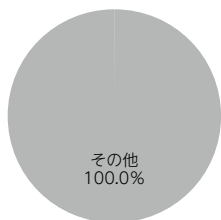
◆1万口当たりの費用明細

該当事項はございません。 (2017年11月1日～2018年10月31日)

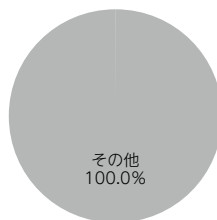
◆組入上位10銘柄

2018年10月31日現在、有価証券等の残高はございません。

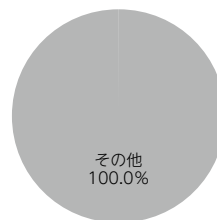
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

